

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	足柄上病院	2
-	循環器呼吸器病センター	3
-	こども医療センター	4
横浜市	市民病院	5
横浜市	みなと赤十字病院	6
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	7
川崎市	川崎病院	8
川崎市	井田病院	9
川崎市	多摩病院	10
横須賀市	市民病院	11
横須賀市	うわまち病院	12
平塚市	平塚市民病院	13
藤沢市	藤沢市民病院	14
小田原市	市立病院	15
茅ヶ崎市	市立病院	16
三浦市	市立病院	17
厚木市	市立病院	18
大和市	市立病院	19

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	足柄上病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	9,237,333
決算規模(千円)	2,207,423,640
標準財政規模(千円)	1,414,177,145
財政力指数	0.83935
経常収支比率(%)	96.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	48,443			
1 経常収益	48,443			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	48,443			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	48,443			
2 経常費用	48,443			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	48,443			
(うち支払利息)	48,443	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,643,328			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	80.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名 循環器呼吸器病センター			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,333	
決算規模(千円)	2,207,423,640	
標準財政規模(千円)	1,414,177,145	
財政力指数	0.83935	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	64.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,149			
1 経常収益	26,149			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	26,149			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,149			
2 経常費用	26,149			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,149			
(うち支払利息)	26,149	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	706,793			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	80.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	こども医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,333	
決算規模(千円)	2,207,423,640	
標準財政規模(千円)	1,414,177,145	
財政力指数	0.83935	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	64.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	112,567			
1 経常収益	112,567			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	112,567			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	112,567			
2 経常費用	112,567			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	-	-	8.5	7.9
経費	-	-	21.5	18.1
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	112,567			
(うち支払利息)	112,567	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	5,055,556			
経常収支比率	100.0		96.5	97.5
医業収支比率	-		86.0	90.0
修正医業収支比率	-		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	88.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,612 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	624	91.9	85.7	84.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	67.4	74.9	69.4
計	650	90.9	85.3	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.9	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	1,957,930,068	
標準財政規模(千円)	1,000,040,812	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	127.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,523,484			
1 経常収益	31,496,654			
(1) 医業収益	28,950,741			
(うち修正医業収益)	28,723,322			
入院収益	18,476,834			
外来収益	9,470,037			
診療収入計	27,946,871			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,003,870			
(うち他会計負担金)	227,419			
(2) 医業外収益	2,545,913			
(うち国・都道府県補助金)	203,585			
(うち他会計補助・負担金)	1,085,510			
(うち長期前受金戻入)	862,650			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,830			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	32,933,935			
2 経常費用	32,126,064			
(1) 医業費用	30,451,323			
職員給与費	13,050,539	45.1	58.7	51.4
材料費	9,632,265	33.3	26.9	32.6
(うち薬品費)	6,073,224	21.0	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,415,504	11.8	11.7	13.9
減価償却費	2,458,282	8.5	8.5	7.4
経費	5,240,176	18.1	21.5	16.9
(うち委託料)	2,404,182	8.3	11.5	10.0
研究研修費	64,623			
資産減耗費	5,438			
(2) 医業外費用	1,674,741			
(うち支払利息)	149,215	0.5	0.9	0.8
(3) 特別損失	807,871			
経常損益	-629,410			
純損益	-1,410,451			
累積欠損金	10,332,885			
経常収支比率	98.0		96.5	97.6
医業収支比率	95.1		86.0	91.7
修正医業収支比率	94.3		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.2		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	4.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.2		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	94.0		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	97,678,840
1 固定資産	76,534,302
(1) 有形固定資産	73,275,240
(2) 無形固定資産	571,502
(3) 投資その他の資産	2,687,560
2 流動資産	21,144,538
(1) 現金及び預金	6,237,497
(2) 未収金及び未収収益	6,962,635
(3) 貸倒引当金()	37,073
(4) 貯蔵品	363,955
3 繰延資産	-
負債合計	95,157,684
1 固定負債	67,485,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,003,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,482,262
(6) リース債務	-
2 流動負債	19,083,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,697,857
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,393,879
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,254,083
(9) 前受金及び前受収益	2,293
3 繰延収益	8,588,527
(1) 長期前受金	29,492,996
(2) 長期前受金収益化累計額()	20,904,469
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,521,156
1 本金	37,517,072
2 剰余金	-34,995,916
(1) 資本剰余金	9,755,074
(2) 利益剰余金	-44,750,990
負債・資本合計	97,678,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,285,129	1,312,929
資本勘定繰入	947,318	947,318
計	2,232,447	2,260,247

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		みなと赤十字病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	74,148 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	584	81.2	76.7	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	49.5	54.9	54.7
感染症	-	-	-	-
計	634	78.7	75.0	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.0	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	1,957,930,068	
標準財政規模(千円)	1,000,040,812	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	127.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,051,683			
1 経常収益	1,977,604			
(1) 医業収益	55,055			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	55,055			
(うち他会計負担金)	55,055			
(2) 医業外収益	1,922,549			
(うち国・都道府県補助金)	187,727			
(うち他会計補助・負担金)	512,424			
(うち長期前受金戻入)	372,194			
(うち資本費繰入収益)	225,121			
(3) 特別利益	74,079			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,546,416			
2 経常費用	1,469,511			
(1) 医業費用	1,077,771			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	562,047	1020.9	8.5	7.4
経費	515,724	936.7	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	391,740			
(うち支払利息)	389,965	708.3	0.9	0.8
(3) 特別損失	76,905			
損益	508,093			
純損益	505,267			
累積欠損金	10,733,034			
経常収支比率	134.6		96.5	97.6
医業収支比率	5.1		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	28.7		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	1030.7		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	27.7		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	96.0		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	97,678,840
1 固定資産	76,534,302
(1) 有形固定資産	73,275,240
(2) 無形固定資産	571,502
(3) 投資その他の資産	2,687,560
2 流動資産	21,144,538
(1) 現金及び預金	6,237,497
(2) 未収金及び未収収益	6,962,635
(3) 貸倒引当金()	37,073
(4) 貯蔵品	363,955
3 繰延資産	-
負債合計	95,157,684
1 固定負債	67,485,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,003,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,482,262
(6) リース債務	-
2 流動負債	19,083,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,697,857
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,393,879
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,254,083
(9) 前受金及び前受収益	2,293
3 繰延収益	8,588,527
(1) 長期前受金	29,492,996
(2) 長期前受金収益化累計額()	20,904,469
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,521,156
1 本金	37,517,072
2 剰余金	-34,995,916
(1) 資本剰余金	9,755,074
(2) 利益剰余金	-44,750,990
負債・資本合計	97,678,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	565,612	567,479
資本勘定繰入	1,384,326	1,609,447
計	1,949,938	2,176,926

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横浜市				
病院名	脳卒中・神経脊椎センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	300	83.4	82.5	78.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	83.4	82.5	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		30.4	31.3	30.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	1,957,930,068	
標準財政規模(千円)	1,000,040,812	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	127.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,029,635			
1 経常収益	8,815,712			
(1) 医業収益	6,254,229			
(うち修正医業収益)	6,167,764			
入院収益	5,547,944			
外来収益	542,965			
診療収入計	6,090,909			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	163,320			
(うち他会計負担金)	86,465			
(2) 医業外収益	2,561,483			
(うち国・都道府県補助金)	134,245			
(うち他会計補助・負担金)	1,888,104			
(うち長期前受金戻入)	383,553			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	213,923			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,967,448			
2 経常費用	8,765,085			
(1) 医業費用	8,336,528			
職員給与費	4,296,435	68.7	58.7	59.2
材料費	1,290,148	20.6	26.9	26.1
(うち薬品費)	321,645	5.1	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	862,834	13.8	11.7	11.1
減価償却費	587,208	9.4	8.5	8.5
経費	2,128,762	34.0	21.5	21.3
(うち委託料)	1,046,153	16.7	11.5	11.7
研究研修費	16,158			
資産減耗費	17,817			
(2) 医業外費用	428,557			
(うち支払利息)	133,751	2.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	202,363			
損益	50,627			
純損益	62,187			
累積欠損金	23,685,071			
経常収支比率	100.6		96.5	95.9
医業収支比率	75.0		86.0	86.4
修正医業収支比率	74.0		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.4		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.6		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	21.9		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	78.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	97,678,840
1 固定資産	76,534,302
(1) 有形固定資産	73,275,240
(2) 無形固定資産	571,502
(3) 投資その他の資産	2,687,560
2 流動資産	21,144,538
(1) 現金及び預金	6,237,497
(2) 未収金及び未収収益	6,962,635
(3) 貸倒引当金()	37,073
(4) 貯蔵品	363,955
3 繰延資産	-
負債合計	95,157,684
1 固定負債	67,485,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,003,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,482,262
(6) リース債務	-
2 流動負債	19,083,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,697,857
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,393,879
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,254,083
(9) 前受金及び前受収益	2,293
3 繰延収益	8,588,527
(1) 長期前受金	29,492,996
(2) 長期前受金収益化累計額()	20,904,469
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,521,156
1 本金	37,517,072
2 剰余金	-34,995,916
(1) 資本剰余金	9,755,074
(2) 利益剰余金	-44,750,990
負債・資本合計	97,678,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,974,569	1,974,569
資本勘定繰入	869,742	869,742
計	2,844,311	2,844,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		川崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,764 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	663	66.9	65.7	63.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	46.1	44.4	42.5
感染症	12	28.7	38.2	41.9
計	713	65.2	64.1	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.1	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	801,310,662	
標準財政規模(千円)	406,126,808	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	124.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,207,060			
1 経常収益	24,073,859			
(1) 医業収益	21,426,176			
(うち修正医業収益)	19,997,956			
入院収益	13,615,824			
外来収益	6,167,754			
診療収入計	19,783,578			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,642,598			
(うち他会計負担金)	1,428,220			
(2) 医業外収益	2,647,683			
(うち国・都道府県補助金)	36,357			
(うち他会計補助・負担金)	1,688,856			
(うち長期前受金戻入)	402,768			
(うち資本費繰入収益)	314,452			
(3) 特別利益	133,201			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,284,640			
2 経常費用	24,078,179			
(1) 医業費用	22,893,571			
職員給与費	10,851,730	50.6	58.7	51.4
材料費	5,997,920	28.0	26.9	32.6
(うち薬品費)	3,598,126	16.8	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,273,065	10.6	11.7	13.9
減価償却費	1,328,908	6.2	8.5	7.4
経費	4,649,141	21.7	21.5	16.9
(うち委託料)	2,966,344	13.8	11.5	10.0
研究研修費	52,584			
資産減耗費	13,288			
(2) 医業外費用	1,184,608			
(うち支払利息)	174,037	0.8	0.9	0.8
(3) 特別損失	206,461			
経常損益	-4,320			
純損益	-77,580			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	93.6		86.0	91.7
修正医業収支比率	87.4		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	12.9		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	87.0		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	59,100,585
1 固定資産	45,976,547
(1) 有形固定資産	45,975,197
(2) 無形固定資産	1,350
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	13,124,038
(1) 現金及び預金	7,769,310
(2) 未収金及び未収収益	5,182,634
(3) 貸倒引当金()	72,546
(4) 貯蔵品	241,400
(5) 繰延資産	-
負債合計	57,116,006
1 固定負債	43,847,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,078,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,711,769
(6) リース債務	57,482
2 流動負債	10,852,417
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,529,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,199,115
(6) リース債務	67,899
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,890,753
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,415,964
(1) 長期前受金	21,684,093
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,268,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,984,579
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-13,841,174
(1) 資本剰余金	2,489,511
(2) 利益剰余金	-16,330,685
負債・資本合計	59,100,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,114,641	3,114,920
資本勘定繰入	1,428,293	1,428,293
計	4,542,934	4,543,213

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		井田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	343	73.9	65.1	61.2
療養	-	-	-	-
結核	40	30.7	16.0	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	69.4	61.4	54.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	13.8	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	801,310,662	
標準財政規模(千円)	406,126,808	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	124.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,009,696			
1 経常収益	9,857,799			
(1) 医業収益	8,076,556			
(うち修正医業収益)	7,734,945			
入院収益	4,940,873			
外来収益	2,644,294			
診療収入計	7,585,167			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	491,389			
(うち他会計負担金)	341,611			
(2) 医業外収益	1,781,243			
(うち国・都道府県補助金)	30,413			
(うち他会計補助・負担金)	1,164,761			
(うち長期前受金戻入)	325,432			
(うち資本費繰入収益)	173,797			
(3) 特別利益	151,897			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,470,390			
2 経常費用	11,444,330			
(1) 医業費用	10,876,514			
職員給与費	5,750,291	71.2	58.7	59.2
材料費	1,957,325	24.2	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,167,195	14.5	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	722,068	8.9	11.7	11.1
減価償却費	1,027,013	12.7	8.5	8.5
経費	2,103,657	26.0	21.5	21.3
(うち委託料)	1,278,600	15.8	11.5	11.7
研究研修費	19,861			
資産減耗費	18,367			
(2) 医業外費用	567,816			
(うち支払利息)	204,852	2.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	26,060			
経常損益	-1,586,531			
純損益	-1,460,694			
累積欠損金	19,222,412			
経常収支比率	86.1		96.5	95.9
医業収支比率	74.3		86.0	86.4
修正医業収支比率	71.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	15.0		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	73.0		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	59,100,585
1 固定資産	45,976,547
(1) 有形固定資産	45,975,197
(2) 無形固定資産	1,350
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	13,124,038
(1) 現金及び預金	7,769,310
(2) 未収金及び未収収益	5,182,634
(3) 貸倒引当金()	72,546
(4) 貯蔵品	241,400
3 繰延資産	-
負債合計	57,116,006
1 固定負債	43,847,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,078,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,711,769
(6) リース債務	57,482
2 流動負債	10,852,417
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,529,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,199,115
(6) リース債務	67,899
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,890,753
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,415,964
(1) 長期前受金	21,684,093
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,268,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,984,579
1 本金	15,825,753
2 剰余金	-13,841,174
(1) 資本剰余金	2,489,511
(2) 利益剰余金	-16,330,685
負債・資本合計	59,100,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,505,765	1,505,813
資本勘定繰入	483,921	483,921
計	1,989,686	1,989,734

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		多摩病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	376	72.7	62.1	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	72.7	62.1	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.1	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	801,310,662	
標準財政規模(千円)	406,126,808	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	124.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,988,834			
1 経常収益	1,625,413			
(1) 医業収益	1,016,088			
(うち修正医業収益)	694,756			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,016,088			
(うち他会計負担金)	321,332			
(2) 医業外収益	609,325			
(うち国・都道府県補助金)	2,298			
(うち他会計補助・負担金)	396,406			
(うち長期前受金戻入)	209,178			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	363,421			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,242,737			
2 経常費用	1,242,439			
(1) 医業費用	1,001,813			
職員給与費	26,865	2.6	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	318,894	31.4	8.5	8.5
経費	653,108	64.3	21.5	21.3
(うち委託料)	22,563	2.2	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	2,946			
(2) 医業外費用	240,626			
(うち支払利息)	240,626	23.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	298			
経常損益	382,974			
純損益	746,097			
累積欠損金	1,233,048			
経常収支比率	130.8		96.5	95.9
医業収支比率	101.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	69.3		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	44.2		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	70.6		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	36.1		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	73.1		85.4	86.4

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	59,100,585
1 固定資産	45,976,547
(1) 有形固定資産	45,975,197
(2) 無形固定資産	1,350
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	13,124,038
(1) 現金及び預金	7,769,310
(2) 未収金及び未収収益	5,182,634
(3) 貸倒引当金()	72,546
(4) 貯蔵品	241,400
3 繰延資産	-
負債合計	57,116,006
1 固定負債	43,847,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,078,374
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,711,769
(6) リース債務	57,482
2 流動負債	10,852,417
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,529,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,199,115
(6) リース債務	67,899
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,890,753
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,415,964
(1) 長期前受金	21,684,093
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,268,129
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,984,579
1 本金	15,825,753
2 剰余金	-13,841,174
(1) 資本剰余金	2,489,511
(2) 利益剰余金	-16,330,685
負債・資本合計	59,100,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	717,738	717,738
資本勘定繰入	709,089	709,089
計	1,426,827	1,426,827

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横須賀市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,943 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	476	40.8	39.9	41.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	482	40.3	39.4	40.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	13.6	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	167,473,655	
標準財政規模(千円)	86,486,859	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	26.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	924,175			
1 経常収益	800,555			
(1) 医業収益	405,709			
(うち修正医業収益)	14,709			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	405,709			
(うち他会計負担金)	391,000			
(2) 医業外収益	394,846			
(うち国・都道府県補助金)	153,159			
(うち他会計補助・負担金)	203,000			
(うち長期前受金戻入)	28,006			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	123,620			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	974,673			
2 経常費用	805,023			
(1) 医業費用	781,463			
職員給与費	26,547	6.5	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	457,364	112.7	8.5	7.9
経費	295,467	72.8	21.5	18.1
(うち委託料)	20,715	5.1	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	2,085			
(2) 医業外費用	23,560			
(うち支払利息)	14,689	3.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	169,650			
経常損益	-4,468			
純損益	-50,498			
累積欠損金	7,668,610			
経常収支比率	99.4		96.5	97.5
医業収支比率	51.9		86.0	90.0
修正医業収支比率	1.9		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	74.2		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	146.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	64.3		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	25.7		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	21,978,369
1 固定資産	16,785,007
(1) 有形固定資産	16,781,326
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,193,362
(1) 現金及び預金	4,574,649
(2) 未収金及び未収収益	621,630
(3) 貸倒引当金()	2,926
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	11,147,611
1 固定負債	9,897,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,850,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,582
(6) リース債務	-
2 流動負債	631,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	462,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,447
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	618,476
(1) 長期前受金	2,094,269
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,475,793
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,830,758
1 本金	12,989,956
2 剰余金	-2,159,198
(1) 資本剰余金	4,061,628
(2) 利益剰余金	-6,220,826
負債・資本合計	21,978,369
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	652,428	594,000
資本勘定繰入	120,819	119,000
計	773,247	713,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	892.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横須賀市			
病院名		うわまち病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,514 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	367	78.0	73.5	70.9
療養	50	32.5	23.4	33.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	72.6	67.5	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.9	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	167,473,655	
標準財政規模(千円)	86,486,859	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.6
	将来負担比率(%)	26.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,208,852			
1 経常収益	867,965			
(1) 医業収益	291,531			
(うち修正医業収益)	18,531			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	291,531			
(うち他会計負担金)	273,000			
(2) 医業外収益	576,434			
(うち国・都道府県補助金)	246,531			
(うち他会計補助・負担金)	132,000			
(うち長期前受金戻入)	41,250			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	340,887			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,137,236			
2 経常費用	796,349			
(1) 医業費用	733,101			
職員給与費	26,547	9.1	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	319,335	109.5	8.5	7.9
経費	387,219	132.8	21.5	18.1
(うち委託料)	30,814	10.6	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	63,248			
(うち支払利息)	25,937	8.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	340,887			
経常損益	71,616			
純損益	71,616			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.0		96.5	97.5
医業収支比率	39.8		86.0	90.0
修正医業収支比率	2.5		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	46.7		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	138.9		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	33.5		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	58.1		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	21,978,369
1 固定資産	16,785,007
(1) 有形固定資産	16,781,326
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,193,362
(1) 現金及び預金	4,574,649
(2) 未収金及び未収収益	621,630
(3) 貸倒引当金()	2,926
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	11,147,611
1 固定負債	9,897,735
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,850,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,582
(6) リース債務	-
2 流動負債	631,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	462,394
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,447
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,460
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	618,476
(1) 長期前受金	2,094,269
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,475,793
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	10,830,758
1 本金	12,989,956
2 剰余金	-2,159,198
(1) 資本剰余金	4,061,628
(2) 利益剰余金	-6,220,826
負債・資本合計	21,978,369
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	471,083	405,000
資本勘定繰入	110,459	105,000
計	581,542	510,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	892.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		平塚市			
病院名		平塚市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,719 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	410	73.1	74.7	74.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	72.1	73.6	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.3	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	258,422	
決算規模(千円)	95,251,774	
標準財政規模(千円)	51,946,354	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	14.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,389,246			
1 経常収益	15,127,965			
(1) 医業収益	13,428,626			
(うち修正医業収益)	12,922,916			
入院収益	9,236,916			
外来収益	3,450,117			
診療収入計	12,687,033			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	741,593			
(うち他会計負担金)	505,710			
(2) 医業外収益	1,699,339			
(うち国・都道府県補助金)	52,038			
(うち他会計補助・負担金)	1,034,581			
(うち長期前受金戻入)	375,676			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	261,281			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,184,934			
2 経常費用	15,631,247			
(1) 医業費用	14,940,754			
職員給与費	8,267,576	61.6	58.7	55.7
材料費	3,160,890	23.5	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,531,748	11.4	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,629,142	12.1	11.7	12.7
減価償却費	1,083,301	8.1	8.5	7.9
経費	2,394,923	17.8	21.5	18.1
(うち委託料)	1,624,345	12.1	11.5	10.0
研究研修費	29,992			
資産減耗費	4,072			
(2) 医業外費用	690,493			
(うち支払利息)	79,843	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	553,687			
経常損益	-503,282			
純損益	-795,688			
累積欠損金	1,081,255			
経常収支比率	96.8		96.5	97.5
医業収支比率	89.9		86.0	90.0
修正医業収支比率	86.5		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.5		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	10.0		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	86.9		85.4	88.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	26,618,612
1 固定資産	17,786,374
(1) 有形固定資産	15,828,865
(2) 無形固定資産	777,397
(3) 投資その他の資産	1,180,112
2 流動資産	8,832,238
(1) 現金及び預金	5,450,906
(2) 未収金及び未収収益	3,305,147
(3) 貸倒引当金()	4,823
(4) 貯蔵品	63,179
3 繰延資産	-
負債合計	21,298,845
1 固定負債	16,693,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,410,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,500,000
(5) 引当金	2,240,671
(6) リース債務	542,392
2 流動負債	3,444,665
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	744,615
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	509,732
(6) リース債務	205,694
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	975,181
(9) 前受金及び前受収益	585
3 繰延収益	1,160,565
(1) 長期前受金	4,314,753
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,154,188
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,319,767
1 本金	6,199,592
2 剰余金	-879,825
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-879,825
負債・資本合計	26,618,612
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,540,291	1,540,291
資本勘定繰入	249,333	249,333
計	1,789,624	1,789,624

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	8.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	藤沢市				
病院名	藤沢市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,595 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救急が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	530	81.9	77.7	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	23.8	33.4	45.4
計	536	81.2	77.2	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.0	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	436,905	
決算規模(千円)	169,283,856	
標準財政規模(千円)	92,308,993	
財政力指数	1.05	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	45.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,706,730			
1 経常収益	21,701,752			
(1) 医業収益	19,915,363			
(うち修正医業収益)	19,458,143			
入院収益	13,172,016			
外来収益	5,835,063			
診療収入計	19,007,079			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	908,284			
(うち他会計負担金)	457,220			
(2) 医業外収益	1,786,389			
(うち国・都道府県補助金)	253,762			
(うち他会計補助・負担金)	1,068,073			
(うち長期前受金戻入)	299,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,978			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,323,925			
2 経常費用	22,125,649			
(1) 医業費用	21,071,534			
職員給与費	10,725,586	53.9	58.7	51.4
材料費	5,316,012	26.7	26.9	32.6
(うち薬品費)	2,583,499	13.0	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,600,653	13.1	11.7	13.9
減価償却費	1,383,403	6.9	8.5	7.4
経費	3,578,128	18.0	21.5	16.9
(うち委託料)	2,381,002	12.0	11.5	10.0
研究研修費	47,078			
資産減耗費	21,327			
(2) 医業外費用	1,054,115			
(うち支払利息)	86,157	0.4	0.9	0.8
(3) 特別損失	198,276			
経常損益	-423,897			
純損益	-617,195			
累積欠損金	3,219,779			
経常収支比率	98.1		96.5	97.6
医業収支比率	94.5		86.0	91.7
修正医業収支比率	92.3		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	7.0		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	91.2		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,362,488
1 固定資産	12,766,731
(1) 有形固定資産	12,011,070
(2) 無形固定資産	398,547
(3) 投資その他の資産	357,114
2 流動資産	11,595,757
(1) 現金及び預金	7,935,541
(2) 未収金及び未収収益	3,641,704
(3) 貸倒引当金()	28,840
(4) 貯蔵品	47,352
3 繰延資産	-
負債合計	17,950,370
1 固定負債	13,575,462
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,146,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,387,199
(6) リース債務	41,415
2 流動負債	3,649,402
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	711,594
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	669,318
(6) リース債務	112,336
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,053,219
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	725,506
(1) 長期前受金	1,955,445
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,229,939
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,412,118
1 本金	9,575,890
2 剰余金	-3,163,772
(1) 資本剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-3,219,779
負債・資本合計	24,362,488
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,607,966	1,525,293
資本勘定繰入	197,728	197,728
計	1,805,694	1,723,021

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	小田原市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	417	88.0	91.7	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	88.0	91.7	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.6	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	188,856	
決算規模(千円)	82,700,076	
標準財政規模(千円)	40,382,203	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	38.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,175,548			
1 経常収益	16,170,813			
(1) 医業収益	14,326,793			
(うち修正医業収益)	14,204,093			
入院収益	10,674,428			
外来収益	3,426,441			
診療収入計	14,100,869			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	225,924			
(うち他会計負担金)	122,700			
(2) 医業外収益	1,844,020			
(うち国・都道府県補助金)	405,983			
(うち他会計補助・負担金)	1,277,300			
(うち長期前受金戻入)	69,958			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,735			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,152,322			
2 経常費用	14,126,080			
(1) 医業費用	13,471,524			
職員給与費	7,234,795	50.5	58.7	55.7
材料費	3,343,031	23.3	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,401,089	9.8	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,846,137	12.9	11.7	12.7
減価償却費	749,250	5.2	8.5	7.9
経費	2,110,547	14.7	21.5	18.1
(うち委託料)	1,408,352	9.8	11.5	10.0
研究研修費	26,685			
資産減耗費	7,216			
(2) 医業外費用	654,556			
(うち支払利息)	13,731	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	26,242			
損益	2,044,733			
純損益	2,023,226			
累積欠損金	-			
経常収支比率	114.5		96.5	97.5
医業収支比率	106.3		86.0	90.0
修正医業収支比率	105.4		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.7		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	104.6		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,749,366
1 固定資産	7,137,366
(1) 有形固定資産	6,771,046
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	366,320
2 流動資産	17,612,000
(1) 現金及び預金	13,483,801
(2) 未収金及び未収収益	2,591,195
(3) 貸倒引当金()	14,000
(4) 貯蔵品	51,004
3 繰延資産	-
負債合計	8,139,265
1 固定負債	4,939,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,325,674
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,449,770
(6) リース債務	163,588
2 流動負債	2,779,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	322,627
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,593
(6) リース債務	214,242
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,817,593
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	421,074
(1) 長期前受金	1,010,508
(2) 長期前受金収益化累計額()	589,434
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	16,610,101
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	11,737,438
(1) 資本剰余金	199,325
(2) 利益剰余金	11,538,113
負債・資本合計	24,749,366
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,438,415	1,400,000
資本勘定繰入	384,320	32,185
計	1,822,735	1,432,185

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	茅ヶ崎市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,878 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	401	71.8	68.6	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	71.8	68.6	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.3	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	242,389	
決算規模(千円)	87,242,624	
標準財政規模(千円)	46,113,487	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	16.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,867,590			
1 経常収益	12,833,527			
(1) 医業収益	11,355,114			
(うち修正医業収益)	11,037,378			
入院収益	6,867,100			
外来収益	3,817,875			
診療収入計	10,684,975			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	670,139			
(うち他会計負担金)	317,736			
(2) 医業外収益	1,478,413			
(うち国・都道府県補助金)	448,453			
(うち他会計補助・負担金)	666,530			
(うち長期前受金戻入)	266,021			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34,063			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,253,907			
2 経常費用	12,829,636			
(1) 医業費用	12,152,357			
職員給与費	6,298,582	55.5	58.7	55.7
材料費	2,887,228	25.4	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,614,382	14.2	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,268,259	11.2	11.7	12.7
減価償却費	602,682	5.3	8.5	7.9
経費	2,296,198	20.2	21.5	18.1
(うち委託料)	1,525,791	13.4	11.5	10.0
研究研修費	31,643			
資産減耗費	36,024			
(2) 医業外費用	677,279			
(うち支払利息)	97,480	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	424,271			
経常損益	3,891			
純損益	-386,317			
累積欠損金	3,765,652			
経常収支比率	100.0		96.5	97.5
医業収支比率	93.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	90.8		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	7.6		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	92.4		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	18,242,400
1 固定資産	11,283,510
(1) 有形固定資産	10,426,355
(2) 無形固定資産	587,959
(3) 投資その他の資産	269,196
2 流動資産	6,958,890
(1) 現金及び預金	4,944,609
(2) 未収金及び未収収益	1,923,368
(3) 貸倒引当金()	67,860
(4) 貯蔵品	158,773
3 繰延資産	-
負債合計	14,845,832
1 固定負債	9,962,328
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,033,247
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,868,247
(6) リース債務	60,834
2 流動負債	3,285,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,224,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	492,069
(6) リース債務	30,600
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,533,599
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,597,555
(1) 長期前受金	7,944,923
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,347,368
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,396,568
1 本金	5,383,112
2 剰余金	-1,986,544
(1) 資本剰余金	1,779,108
(2) 利益剰余金	-3,765,652
負債・資本合計	18,242,400
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	984,266	984,266
資本勘定繰入	576,097	576,097
計	1,560,363	1,560,363

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	三浦市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	136	79.8	81.3	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	79.8	81.3	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	18.7	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	42,069	
決算規模(千円)	18,926,204	
標準財政規模(千円)	10,611,201	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	92.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,494,701			
1 経常収益	2,494,701			
(1) 医業収益	2,302,711			
(うち修正医業収益)	2,127,123			
入院収益	1,443,862			
外来収益	559,576			
診療収入計	2,003,438			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	299,273			
(うち他会計負担金)	175,588			
(2) 医業外収益	191,990			
(うち国・都道府県補助金)	27,418			
(うち他会計補助・負担金)	115,209			
(うち長期前受金戻入)	15,056			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,703,688			
2 経常費用	2,697,507			
(1) 医業費用	2,579,979			
職員給与費	1,574,699	68.4	58.7	67.7
材料費	239,645	10.4	26.9	18.3
(うち薬品費)	87,605	3.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	151,056	6.6	11.7	9.1
減価償却費	208,178	9.0	8.5	10.3
経費	546,528	23.7	21.5	29.4
(うち委託料)	342,044	14.9	11.5	13.6
研究研修費	9,002			
資産減耗費	1,927			
(2) 医業外費用	117,528			
(うち支払利息)	30,619	1.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	6,181			
経常損益	-202,806			
純損益	-208,987			
累積欠損金	1,079,783			
経常収支比率	92.5		96.5	95.4
医業収支比率	89.3		86.0	79.1
修正医業収支比率	82.4		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	11.7		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	81.7		85.4	79.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,196,552
1 固定資産	2,605,851
(1) 有形固定資産	2,597,108
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	8,300
2 流動資産	1,590,701
(1) 現金及び預金	961,134
(2) 未収金及び未収収益	632,373
(3) 貸倒引当金()	13,608
(4) 貯蔵品	8,640
3 繰延資産	-
負債合計	2,849,737
1 固定負債	2,081,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,788,045
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	293,090
(6) リース債務	-
2 流動負債	643,527
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	254,542
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	108,783
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	259,109
(9) 前受金及び前受収益	9,843
3 繰延収益	125,075
(1) 長期前受金	296,522
(2) 長期前受金収益化累計額()	171,447
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,346,815
1 本金	2,426,598
2 剰余金	-1,079,783
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,079,783
負債・資本合計	4,196,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	290,797	290,797
資本勘定繰入	124,149	167,999
計	414,946	458,796

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名	厚木市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	341	70.1	67.9	67.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	61.4	53.7	58.3
計	347	70.0	67.7	66.9
平均在院日数(一般病床のみ)		8.3	8.9	9.4

設立団体の状況	
人口(人)	223,705
決算規模(千円)	102,832,247
標準財政規模(千円)	51,812,375
財政力指数	1.15
経常収支比率(%)	88.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	3.2
将来負担比率(%)	56.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,760,277			
1 経常収益	11,685,124			
(1) 医業収益	10,073,788			
(うち修正医業収益)	9,416,185			
入院収益	6,531,837			
外来収益	2,699,762			
診療収入計	9,231,599			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	842,189			
(うち他会計負担金)	657,603			
(2) 医業外収益	1,611,336			
(うち国・都道府県補助金)	308,704			
(うち他会計補助・負担金)	663,005			
(うち長期前受金戻入)	510,010			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75,153			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,401,978			
2 経常費用	11,372,421			
(1) 医業費用	10,807,478			
職員給与費	5,783,871	57.4	58.7	59.2
材料費	2,248,906	22.3	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,044,818	10.4	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,203,668	11.9	11.7	11.1
減価償却費	929,636	9.2	8.5	8.5
経費	1,819,497	18.1	21.5	21.3
(うち委託料)	1,268,164	12.6	11.5	11.7
研究研修費	16,034			
資産減耗費	9,534			
(2) 医業外費用	564,943			
(うち支払利息)	103,728	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	29,557			
経常損益	312,703			
純損益	358,299			
累積欠損金	2,513,944			
経常収支比率	102.7		96.5	95.9
医業収支比率	93.2		86.0	86.4
修正医業収支比率	87.1		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	11.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	91.1		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	25,934,191
1 固定資産	20,224,240
(1) 有形固定資産	15,644,933
(2) 無形固定資産	77,597
(3) 投資その他の資産	4,501,710
2 流動資産	5,709,951
(1) 現金及び預金	3,796,828
(2) 未収金及び未収収益	1,819,666
(3) 貸倒引当金()	1,989
(4) 貯蔵品	95,446
3 繰延資産	-
負債合計	21,426,994
1 固定負債	17,216,776
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,697,009
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	2,003,922
(5) 引当金	841,029
(6) リース債務	674,816
2 流動負債	2,743,406
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	734,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	140,141
(5) 引当金	342,169
(6) リース債務	158,839
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,353,584
(9) 前受金及び前受収益	3,159
3 繰延収益	1,466,812
(1) 長期前受金	5,190,954
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,724,142
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,507,197
1 本金	4,034,682
2 剰余金	472,515
(1) 資本剰余金	2,924,459
(2) 利益剰余金	-2,451,944
負債・資本合計	25,934,191
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,250,394	1,320,608
資本勘定繰入	802,566	869,099
計	2,052,960	2,189,707

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		大和市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	403	69.5	64.1	59.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	69.5	64.1	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.0	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	239,169	
決算規模(千円)	87,280,518	
標準財政規模(千円)	46,314,742	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	39.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,453,918			
1 経常収益	12,453,521			
(1) 医業収益	10,698,509			
(うち修正医業収益)	10,388,816			
入院収益	6,787,228			
外来収益	3,353,194			
診療収入計	10,140,422			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	558,087			
(うち他会計負担金)	309,693			
(2) 医業外収益	1,755,012			
(うち国・都道府県補助金)	236,433			
(うち他会計補助・負担金)	1,047,947			
(うち長期前受金戻入)	390,975			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	397			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,748,764			
2 経常費用	12,658,518			
(1) 医業費用	12,097,265			
職員給与費	6,586,232	61.6	58.7	55.7
材料費	2,682,374	25.1	26.9	28.9
(うち薬品費)	1,427,505	13.3	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,161,945	10.9	11.7	12.7
減価償却費	728,188	6.8	8.5	7.9
経費	2,054,344	19.2	21.5	18.1
(うち委託料)	1,275,755	11.9	11.5	10.0
研究研修費	17,458			
資産減耗費	28,669			
(2) 医業外費用	561,253			
(うち支払利息)	10,649	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	90,246			
損益	-204,997			
純損益	-294,846			
累積欠損金	6,943,204			
経常収支比率	98.4		96.5	97.5
医業収支比率	88.4		86.0	90.0
修正医業収支比率	85.9		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	10.9		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	87.7		85.4	88.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,313,479
1 固定資産	6,922,281
(1) 有形固定資産	6,651,560
(2) 無形固定資産	7,936
(3) 投資その他の資産	262,785
2 流動資産	3,391,198
(1) 現金及び預金	1,638,185
(2) 未収金及び未収収益	1,731,751
(3) 貸倒引当金()	6,123
(4) 貯蔵品	27,381
3 繰延資産	-
負債合計	8,647,863
1 固定負債	4,746,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,355,586
(2) その他の企業債	701,805
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	1,689,311
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,752,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	408,105
(2) その他の企業債	63,495
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	433,753
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	844,744
(9) 前受金及び前受収益	275
3 繰延収益	2,149,129
(1) 長期前受金	7,458,666
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,309,537
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,665,616
1 本金	3,836,194
2 剰余金	-2,170,578
(1) 資本剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-6,943,204
負債・資本合計	10,313,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,358,402	1,357,640
資本勘定繰入	432,661	400,000
計	1,791,063	1,757,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。